

## ◆◆◆《第4473回金融ファクシミリ新聞社セミナー》のご案内 ◆◆◆

新しい金融ファクシミリ新聞社セミナーをご案内致しました。ご回覧、ご検討をお願いします。  
主催：FNコミュニケーションズ(<https://www.fngseminar.jp/seminar/>) 共催：金融ファクシミリ新聞社

# シンガポールを中心に東南アジアの 金融デジタルの高度化と関連法規制 —わが国金融ビジネスのデジタル化に向けた先行事例として—

**森 和孝 氏**

One Asia Lawyers パートナー弁護士(シンガポールオフィス)  
日本法弁護士/シンガポール外国法弁護士  
フィンテック・STOチームヘッド

**【講演趣旨】** 新型コロナウイルスの流行とその対応の中で、日本のデジタル化の遅れが浮き彫りになりました。そのためDXをもっと推進すべしとの声が一層強くなっています。日本政府も2021年9月1日にはデジタル庁を創設する予定で準備を進めています。

海外には、既存の金融機関が独占してきた預金、決済、融資といった金融サービスにフィンテック企業が参入することで、飛躍的にデジタル化が進んだ国が数多く存在します。特に、シンガポールなど東南アジアの各国ではデジタル化を国の中心政策とし積極的に取り組んでいます。デジタル化の遅れを取り戻しデジタル金融のハブを目指す日本にとって参考には数多くあります。

本セミナーでは、シンガポールに在住し現地の事情に詳しく、またデジタル技術にも精通した講師が、シンガポールを中心とした東南アジアの金融デジタル化に関する①デジタルバンク規制、②暗号資産取引を含む決済サービス規制、③ブロックチェーン技術を活用した資金調達方法(ICO・STO)規制について解説します。また、現地の最新のビジネス状況についてもお伝えします。

### 【講演項目】

(定員15名、撮影・録音はご遠慮ください)

- 1 世界における金融のデジタル化の最新状況
  - (1) これまでのデジタル化の経緯
  - (2) ブロックチェーン技術の与える影響
  - (3) シンガポールにおけるデジタル化推進
- 2 デジタルバンク規制
  - (1) 世界のデジタルバンクの最新状況
  - (2) シンガポールのデジタルバンクライセンス
- 3 暗号資産取引を含む決済サービス規制

- (1) 世界の決済サービス規制の最新状況
- (2) 東南アジアの暗号資産決済サービス規制
- (3) シンガポールの決済サービス規制
- 4 ブロックチェーン技術を活用した資金調達方法(ICO・STO)規制
  - (1) ICO/STOの概説
  - (2) 東南アジアのICO/STO規制
  - (3) シンガポールのICO/STO規制

**【講師紹介】 森 和孝(もり かずたか) 氏** シンガポール居住。日系スタートアップの海外展開支援を得意とする。特に、フィンテック、ブロックチェーン関係のクライアントが多く、フィンテックや国際金融関連の講演、執筆多数。オンラインサロン「森小屋」で起業家育成にも注力。弁護士資格の他、中小企業診断士資格保有。神戸大学客員教授/日本ブロックチェーン推進協会(BCCC)リーガルアドバイザー。

**【日時】** 2021年3月9日(火) 13:30-16:30 **【事務局】** TEL: 03-3639-8858

**【料金】** 1人目は 29,300円(税別) 2人目から 27,000円(税別)

**【場所】** 東京都中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル2Fセミナールーム

## ◆◆◆ 第4473回セミナー応募方法 ◆◆◆

- 本セミナーへは、以下の金融ファクシミリ新聞社セミナーのホームページからご応募ください。FAXによる応募は受け付けていません。

<https://www.fngseminar.jp/seminar/>

- 本セミナーへは、オンラインライブ受講、後日動画視聴のいずれかでご応募ください。会場受講はありません。